

短大卒業生の活躍を Watch!

より多くのお客さまに喜んでいただけるように



橋本 華奈 さん

大手前短期大学 ライフデザイン総合学科卒業

勤務先 大阪シティ信用金庫

職種 総合職

勤務年数 3年目

現在の仕事について

今は主に信用金庫の窓口業務の他に現金管理も行っています。

この仕事を選んだのは1年生の1月くらいですが、きっかけはキャリアセンターの方に勧めていただいたことです。

その後は信用金庫からの内定を得るために、色々調べたり、キャリアセンターの方からアドバイスももらったりしました。信用金庫の選考は面接が多かったので、その練習に力を入れました。

この仕事は会社の社長や経理の方と対等に話ができることがやりがいとなっています。日頃からお客さまや職場の仲間のことを考えながら行動するように心がけています。

大手前短期大学で学んで

私が大手前短期大学に進学したのは、コース自由選択制で簿記やパソコン、医療事務など幅広い分野を勉強でき、自分の将来に幅が広がると思ったからです。入学後は「ビジネスキャリアコース」を選択して、簿記やパソコンの授業に力を入れました。その結果、2級医療秘書、MOS Word、MOS Excel、ビジネス実務士、手話検定などの資格を取得しました。

短大生活で一番の思い出は、「アナウンスゼミ」で3ヶ月間のラジオ番組を毎週収録したことです。企画・制作に関わり、友人と協力して作り上げた達成感を得ることができ、とてもよい思い出になっています。



大手前短期大学

- 開設年度 1951（昭和26）年度
- 所在地 兵庫県西宮市
- 建学の精神 STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）
- 設置学科 ライフデザイン総合学科、医療事務総合学科、歯科衛生学科
（2023年度）

印象に残る職場でのエピソード

上司から「家族があってこそ自分がいる。自分を大切にする。」と言われたのはとても印象に残っています。

お客さまにお勧めした金融商品の契約が初めて取れたときは、達成感ややりがいをすごく感じました。入庫して3年目になりますが、仕事で辛いと感じたことはなく、周りの方と仕事では緊張感を持ちながらも、和やかな雰囲気仕事に取り組んでいます。

仕事以外の空いている時間は、ドラマを見たり、ゆっくり睡眠することに充てています。



今も活かされている短期大学での学び

入庫してから現在も、簿記やパソコン、ビジネスマナーを学んだことは、とても役に立っています。

また、アナウンスゼミで学んだ「正しい発音」や「話し方」もお客さまとのコミュニケーションに生かすことができ、プレゼンテーションの時にも自信をもって話すことができます。

その他にも「TOEIC」など英語コミュニケーションの科目をとったことで、英語の会話にも慌てずに対応できることや医療事務の資格など、幅広い分野を学べたことで知識も増え、私の強みとなっています。

短期大学で学ぶ後輩たちへ！ そして未来の私へ！

短期大学で学ぶ後輩には、何事もチャレンジすることで適切かどうかの判断がつくこともあるので、物事を最初から決めつけずに色々なことに挑戦して欲しいと思います。

私自身の目標は、家族を大切にしながら、今後もたくさん知識をつけて、より多くのお客さまに喜んでいただけるよう精進したいです。

寄り添える保育者になりたい



小笠原 姫子 さん

白梅学園短期大学 保育科卒業

勤務先 新宿区立弁天町保育園

職種 保育士

勤務年数 4年目

白梅学園短期大学に決めた理由

白梅学園短期大学への進学は、母に「白梅学園がいいんじゃない?」とさりげなく言われた一言がきっかけです。その後、進路を考えるにあたって、人間を人間として重んじる、人間を尊重するヒューマンイズムの精神や、学生と先生との仲の良さなどに惹かれて白梅学園短期大学への進学を決めました。

印象に残っている授業

ゼミナール活動や実習などもそうですが、「乳児保育」がとくに印象に残っている授業です。担当教授の実際に経験したエピソードや現場でよくある話を交えながら授業が進んでいたので、「これはあの時の話だ!」と働きはじめてからその時の学びが結びついて授業の大事さを実感しています。

また、幼稚園実習では、「おねえさん先生あそぼ〜」と誘ってくれたことや責任実習でやった「しっぽ取り」を何度も楽しんでくれたことが嬉しかったことです。

苦労したのは実習日誌の書き方について、それぞれの子に合わせての関わりを考えながら書くところが難しいと感じました。

保育士の仕事—やりがいと心がけ—

小学生低学年のころは、幼稚園の先生に憧れていたのですが、次第に赤ちゃんに関われる仕事がしたいと思い保育士を選びました。

学生の時、学校の授業をしっかりと受けて学んだのはもちろん、公務員試験の面接対策などをとくに頑張りました。

現在は、乳幼児保育（現在は1歳児クラス担任）、それに付随する指導計画の作成、担当行事の企画などが主な仕事です。

この仕事のやりがいは、子どもの成長をそばでみることができること、成長を保護者と一緒に喜べること、子どもの発想力や表現の面白さを間近で楽しめること、毎日ほっこりするエピソードに溢れていることなどです。

とくに心がけているのは、どんな時も明るく元気でニコニコ笑顔でいること、そして誰にでも名前を呼んで挨拶することです。



白梅学園短期大学

- 開設年度 1957 (昭和 32) 年度
- 所在地 東京都小平市
- 建学の精神 ヒューマンイズムの精神
- 設置学科 保育科
(2023 年度)

今も活かされている短期大学での学び

白梅学園では、わらべうたや手遊びなどだけでなく、保育の根本を学ぶことができました。行き詰まった時には、それを振り返りながら考えることができています。

所属していたゼミナールでは、学生たち自身がやりたいこと、やってみたいことに挑戦し、自分自身が楽しむ経験を重ねることができました。子どもに伝えるためには何を準備したら良いのかを考えたり、挑戦するワクワク感を体験したりした経験は、現場でも活かされています。

白梅学園の図書館にはたくさんの絵本が並んでおり、私は日々借りるのが日課でした。そこでたくさんの本と触れ合えたことは自身の感性を豊かにし、良い経験でした。

白梅学園の強みでもある学生と先生の仲の良さはずば抜けていると思います。卒業した今でも連絡を取り合える仲間がいることは本当に嬉しくて心の支えであり日々の活力です。定期的な会っては、相談をしあったり子どもの可愛い話に花を咲かせています。

短期大学で学ぶ後輩たちへ！
そして未来の私へ！

実習や就職試験など辛い時もあると思いますが、まずは笑顔で元気に挨拶をすることで周りも貴方に引き込まれると思います。そして辛い時は 1 人で抱えず、友達や先生に話してください。一緒に考えるってとても大切です。

そして、今を大切に、やりたいことにはたくさん挑戦して自分自身が楽しむことを忘れないでください！現場でも必ず生きてくる力になります。

私自身の目標は、保育士として視野を広く持ち、一人ひとりの子ども、保護者に寄り添い、楽しさや難しさを共有できる保育者になることです。いつか保育者を目指す人に現場のことを伝え、寄り添える人にもなりたいです。

また、保育士として日々子ども達の可愛らしい素直な感性に触れることも多く、いつか子ども達のつばきやエピソードを集めてわたしだけの特別な本をつくりたいと思っています。

印象に残る職場でのエピソード

他のクラスの先生方から「先生の気づかい出来るところ、ほんとにステキだね。後輩にもこっそり教えてあげてね！」と褒めて頂いたことが今でも印象に残っています。また、「いつも笑顔で優しく子ども達に接していて、先生に安心してクラスの中でも子ども達を託していました」と言われたことは、がむしゃらに頑張ったよかった、これからも頑張れると自信につながりました。

私のことをしっかりとみてくれてそれを言葉で伝えてくれる先輩方は、「ステキだな、いつかあんな先輩になりたい」と憧れの存在です。

時には辛いこともありました。2 年目は子どもの様々なイヤイヤ期と経験不足が重なり自分自身の心に余裕がなくなり、あまり保育を楽しめず辛い時期でした。それでも 0 歳 1 歳と担任を持ち上がりで持つ中で、言葉を話す姿も増え、「しゅんしゅん」「せんせ」「ひめこせんせ」「ひめこ」など私のことを初めて呼んでくれた瞬間はどのシーンも忘れられない宝物です。何度も何度も呼んでくれる子どもの姿に癒されます。また、3 月の終わりに担任をした子どもや、あまり関わりのない子ども、保護者がわざわざ「次は先生が担任だといいな」と言いに来てくれたことは嬉しくてたまらなかったエピソードです。



誇れる栄養士を目指して



高森 真歩 さん

広島文化学園短期大学 食物栄養学科卒業

勤務先 つかいちちびっこの森保育園
職種 栄養士
勤務年数 7年目

広島文化学園短期大学に決めた理由

栄養指導をする上で、調理ができた方が良くと考えていたところ、「調理のできる栄養士」という食物栄養学科のキャッチフレーズにとっても魅力を感じたことやオープンキャンパスでの先輩たちの調理を見て、私も先輩たちのようになりたいと思い進学を決めました。

保育園の栄養士になりたくて

栄養士を目指し始めた時、子どもが好きだったので保育園で働いてみたいと漠然と思っていました。キャリアセンターに足を運んだ際、給食室を直営する保育園の栄養士を募集する求人情報を見て、見学に行ってみようと思いました。食育活動にも力を入れている園だと知り、保育園の栄養士になりたいと思うようになりました。

直営の栄養士は調理も行うため、調理技術は必須と思い、実家暮らしでしたが、台所に立つ回数を増やし、アレルギーの園児がいた場合の対応や離乳食の調理の仕方なども教科書を読み返したり、参考書などを買って勉強したりしました。

印象に残っている授業

調理実習（応用）で、2年間の成果を披露する目的でパーティーを開き、先生方をおもてなしした授業は特に印象深いです。「春よ、来い～和のおもてなし～」をテーマに3種類の膳を考え、提供しました。たくさんの先生方に来ていただいて、「美味しかった」と喜んでもらったのが本当に嬉しかったです。

また、小学校実習にも行き、子ども達の前で授業を行ったのは本当に緊張しましたし、分かりやすく伝える難しさを学びました。担当したクラスの子ども達から、最終日に歌のプレゼントを貰った時はとても感激しました。

かけがえのない経験をした学生生活

学生自治会の会長をしたことは特に心に残っています。それまで人前で話をしたり、意見をまとめるのが苦手でしたが、スポーツ大会や謝恩会の準備などをしていくうちに、相手に分かりやすく伝える方法を学び、「楽しかった」「良かった」と喜んでもらった時の達成感は今でも忘れられません。



広島文化学園短期大学

- 開設年度 1964（昭和39）年度
- 所在地 広島県広島市
- 建学の精神 究理実践
- 設置学科 コミュニティ生活学科、食物栄養学科、保育学科
（2023年度）

仕事で感じる喜びと責任感

主な業務は、お昼ご飯やおやつ調理、食後の片付け・清掃、事務作業等を行っています。

お昼ご飯やおやつ後に「今日の魚美味しかった!!」など、食べた感想を言ってくれると参考になりますし、作って良かったと思います。また、園児が苦手な食材を食べることができた日には、その子以上に喜んでいきます。

働く上で、コミュニケーションは何より大事にしています。アレルギー対応は絶対に間違えられませんし、発注する際も園児の人数をきちんと確認する必要があります。子どもは体調や気分で食事の喫食が変わることもあるので、園児のことをよく知っている保育士さんや保護者の方との連携を図っています。

印象に残る職場でのエピソード

ある時、保護者の方がいるにも関わらず、挨拶をせずに帰った日がありました。それを見ていた先生から「給食の先生ではあるけれど、園の職員であることを忘れないで」と言われました。挨拶もですが、園の行事にもただその場にいるのではなく、積極的に参加しようと決めた一言でした。

また、妊娠中に、つわりが辛く食べ物の匂いで体調を崩してしまうことなどがありました。園児達がお腹を撫でながら「早く出てください〜」と話しかけてくれたのは微笑ましかったです。

ストレス解消法

食べることが好きなので美味しい物をたくさん食べたりします。2人の娘にかわいい服を買うのも楽しみの一つです。

家に帰ると母に戻るの、仕事は私になれる時間だと思い、仕事自体が日々のストレス発散になる時もあります。



今も生かされている短期大学での学び

調理技術は誰にも盗まれない自分自身の努力の結果だと思っています。今の職場での調理で困ったことは正直ないと思います。

コミュニケーション能力は、先生方や友人、他学科の方や地域の方との交流などで、話す力、聞く力がついたと思います。

栄養士に必要なスキルだと思う発言力も、人前で話す機会が多かった私にはメリットだったと思います。

短期大学で学ぶ後輩たちへ！ そして未来の私へ！

調理技術や知識を覚えることはとても大事なことです。また、日々の習慣や何気ない友人との会話も将来に活かせることはたくさんあると思います。勉強やアルバイトなど毎日忙しい日々を送られていると思いますが、今しかできないこともたくさんあると思いますので、悔いの残らないように学生生活を楽しんでほしいです。

私自身の目標としては、管理栄養士の資格はいつか取りたいです。この職場での保育補助をした経験から、保育現場に憧れを持ったため、保育士の資格も取りたいと思っています。今は2人の娘をもつ母として、家族に誇れる栄養士を目指します。

いろいろな人を支える介護福祉士として



白石 莉奈 さん

群馬医療福祉大学短期大学部
医療福祉学科福祉総合コース卒業

勤務先 特別養護老人ホーム 真ほろば
職種 介護福祉士
勤務年数 4年目

介護福祉士を目指して

幼いころから近所のお年寄りの方と触れ合う機会が多く、人の役に立つ仕事をしたいと思っていました。また、介護福祉士として働く親から、仕事の話や利用者に感謝された話などを聞くうちに、将来は自分も介護福祉士の資格を取得し、介護を必要とする人々を支えていきたいと思うようになりました。

そのため、短期大学在学中は授業の合間や放課後の時間を使って、介護福祉士国家試験の過去問題集を毎日1時間以上は勉強するようにしていました。自宅だとどうしても勉強が捗らないので、友人と一緒に図書室をよく利用していました。

友人との思い出

短期大学で知識や経験以外に得たものは、大切な友人たちとのたくさんの思い出です。特に楽しかった思い出は「スポーツ大会」に参加したこと。オリジナルTシャツを作って長縄跳びやバスケットボールの試合に出場しました。あまり話したことの無い同級生とも競技をする中で仲良くなり、試合の合間に写真をたくさん撮ったりしました。

群馬医療福祉大学短期大学部で学んで

高校生の時に受講した「介護職員初任者研修」でお世話になったのが、群馬医療福祉大学短期大学部の先生でした。その先生の雰囲気や、その後参加したオープンキャンパスで先輩に優しく接してもらったことが強く印象に残っていたので、進学を決め手となりました。

特に印象に残っている授業は、生活支援技術の実技で、実際に介護者役と利用者役の、両方の立場を体験でき、利用者の気持ちを理解するうえで貴重な経験となりました。

実習先では、初めて会う利用者の顔と名前を一致させて対応することの難しさを感じ、慣れるまでは苦労しました。緊張しながらも精一杯自分なりに介助を行った際、利用者から「ありがとうね。」と言ってもらえ、嬉しくなったことを今でも覚えています。

今も活かされている短期大学での学び

短期大学在学中の2年間、「環境美化活動」の委員として、ゴミ捨てや教室などの清掃の割り当てなどを委員会で決めたりしながら、キャンパス内の清掃活動をしていました。また、たくさんのボランティア活動に積極的に参加しました。デイサービスでの介助や障がい者スポーツ大会での補助などを経験し、そこで身についた礼儀作法や支援の仕方などは、現在の仕事にとっても活かされていると思います。

群馬医療福祉大学短期大学部

- 開設年度 1995（平成7）年度
- 所在地 群馬県前橋市
- 建学の精神 仁
- 設置学科 医療福祉学科
（2023年度）

仕事での励みと大切にしている心がけ

現在の主な仕事は、利用者の日常生活全般の介助や介護記録などです。利用者の中には耳が聞こえにくい人もいますので、なるべく低い声でゆっくりと話しかけるよう心がけています。それでも伝わらない時には、手や物を使ってジェスチャーで伝えるなど工夫しています。

また、利用者とのやり取りなどを介護記録する際には、事細かに記録をするよう気を付けています。業務に追われていると入力し忘れてしまうこともあるので、必ずその都度メモを取るようになっています。

毎日、積極的に利用者とコミュニケーションをとることで、相手のことを深く知り、その人に合った介助をするように努力しています。利用者から感謝された時には「また明日も頑張ろう！」と励まされます。



印象に残る職場でのエピソード

日々仕事に追われる中、1人で抱え込んでしまった時に上司から「自分が居なくても、この仕事はどうかなるんだから、休むことも大切だよ。」と言われたことが印象に残っています。また別の日には利用者から、「ゆっくりやればいいんだから、とりあえず休みな。」と言われてもらえて心が軽くなりました。

今では、全てを自分でしようとせずに同僚に頼れるようになりました。また、好きな音楽を聴いたり、体を動かすなどしてリフレッシュする時間も大切にしています。

短期大学で学ぶ後輩たちへ！
そして未来の私へ！

後輩の皆さんには、短期大学で基礎的な知識をしっかりと学んだ後に、実習やボランティア活動などを通して、実際の現場の様子を知ってから就職してほしいと思います。もちろん学生のうちは勉強だけではなく、趣味に没頭したり友人と遊ぶ時間も大切にしてください。

私自身の目標としては、1人でも多くの人に「この人に介護してもらえて良かった。」と思ってもらえるように、これからも日々学び続けていきたいと思っています。

